

おすすめBOOK

『たしなみについて』

白洲正子：著

河出書房新社 価格(本体760円+税)

能の研究者、古典研究家、紀行作家。14歳で米国留学、1929年帰国。翌年、英字新聞記者だった「日本一カッコいい男」白洲次郎氏と結婚。72年読売文学賞を受賞。著書多数。98年逝去。日本人として身につけておきたい、57の心がまえ。正子流、生き方のヒント。日本一ステキな女「白洲正子さん」!



あいクラブ通信 Vol.9 Winter

発行：26年4月1日

Vol.9

Winter



写真：彼岸ざくら(小彼岸) 花言葉/心の平安 撮影：市川雅清

スタッフ・つぶやき

◆こちらにご縁あり皆様とお顔をあわせるようになって2年が経ちました。ご葬儀でご利用いただきました皆様からは、「なんだか貸し別荘にきてみたいでくつろげたよ。」「みんなで楽しい一夜を過ごせました。母も喜んでいてと思います。」などとお声を掛けていただきます。また葬儀のない日には「茶房月光庵」でおいしいモーニングをご用意しております。どうかお気軽にお立ち寄りくださいませ…お待ちしております。(林千代子)

◆市川葬典のサービスの一つに生演奏でのお別れがあります。バイオリン、チェロ、フルートで故人様が大好きだった曲を演奏してお送りさせていただいております。静かに聞いてみえる方、いっしょに口ずさんでみえる方、涙ぐんでみえる方、皆様が在りし日の故人様を思い出してみえるご様子です。いままでの緊張から解放された何か温かい空気がながれ優しい気持ちを感じます。(笠原せつ子)

◆私は仕事から宗教者の方の、法話や閑話をお聞きする機会が多くあります。その宗教者の方のお話を聞いて安堵されたご遺族様の表情を見たり、落ち着いた気持ちで葬儀に挑まれている姿を見る度に、宗教(仏教)の教えや、葬儀自体も亡くなられた方へのものではなく、こうして生かされている私自身のものではないかと最近感じるようになりました。(坂上一己)

◆今年、頂いた年賀状への返事が遅くなってしまい、メールでもいいかないと思いましたが、寒中見舞いを出すことにしました。昔から便りを出す時は手書きとこだわっていて、どういいうイラストにしようかな、文章何て書こうかな、などたくさん悩みます。悩みますが、出す相手のことを想いながら一枚ずつ時間をかけて書いたものは温かみが伝わるとし、めったに会えない相手であればあるほど、メールで簡単に済ませなくてよかったと感じた時でした。(小川広子)



【タクシー】JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より、距離2km、所要時間約5分です。
【バス】JR岐阜駅前7番のりば(G線島ルート)乗車。
『本荘』バス停下車東へ徒歩1分です。

お知らせ

平成26年4月1日より、消費税率の変更に伴い、料金プランの変更を行います。詳しくは、弊社ホームページに記載しておりますのでご確認ください。

あなたも、多分100歳まで生きる!

世界一の長寿国、日本。
人生80年?実は、今、60歳の人なら、5人に1人が90歳以上まで長生きされるようです。
今、60歳の男性の2人1人が83歳まで、5人1人が90歳まで長生きして、今、60歳の女性の2人1人が89歳まで、5人1人が96歳まで長生きされます。
あなたも、100歳まで生きるかもしれません。
とてもありがたいことですが、その一方で少子高齢化が進み、今後年金頼みの老後は望めません。家計の「長生きリスク」という言葉が出てくるほどです。
長生きしても困らないために何をすべきなのか。今から考えていく必要があります。しかし、私たちの多くは、自分に楽観性をもつ傾向があることに気づいていません。「自分の未来は明るいものだ」と思い込んでいます。それは人間の脳が持つ楽観主義に基づく行動で、いわば根拠のない自信におおわれているのです。脳科学の世界では、これを「楽観主義バイアス」と呼んでいます。
現実にはそんなに甘くありません。
「終焉」を見つめ、準備することで今後をより豊かに生きるための活動「終活」にも家計のリスクも含め、いろいろなことを考慮する必要が出てきます。
100歳まで生きる時代にふさわしい、作法や知識を身に付けることも大切ですね…

平成26年4月1日 株式会社市川葬典 代表取締役 市川雅清

DETA
カメラ：キャノン EOS 5D Mk II
レンズ：EF 70-200 F2.8 L IS II USM
絞り：F4.5
ホワイトバランス：曇り
シャッタースピード：1/400
ISO感度：200
補正：+2/3

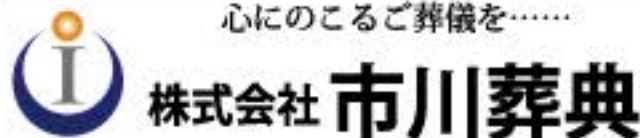
目次

- P-1 ごあいさつ
P-2 今を大切に生きるための終活生前準備講座
P-3 心にのこった…ご葬儀②
P-4 おすすめBOOK
『たしなみについて』
スタッフ・つぶやき
お知らせ



編集事務局 岐阜県岐阜市本町3丁目18番地 0120-00-4243

http://www.ichikawa-souten.jp ☆【岐阜市家族葬】で検索!



心にのこるご葬儀を……
株式会社市川葬典

〒500-8034 岐阜市本町3丁目18番地
TEL 058-262-0042 FAX 058-265-3644

次号は2014年7月1日発行です お楽しみに!

## 自分の人生を自分らしく、美しく完成させるための…終活「生前準備」講座 市川雅清

### 実践講座 第2章

### 今を大切に生きるために…

#### (5) お葬式その3.

#### あるべき姿と理想の姿

海洋葬、樹木葬、宇宙葬などの自由葬（自然葬）が話題になり、増加の傾向にあります。これらはいずれも葬儀ではなく、散骨と同様に納骨の方法が異なっているだけで、通常の葬儀スタイルとは違います。更に、現実として宗教者を迎えない無宗教葬が行われるようになってきました。これらの社会に及ぼす影響は計り知れないものがあります。表面的な満足を提供するだけのビジネスの背景に、大きな落とし穴があることを知っておく必要があります。果たして、人間はそんなに強いものなのでしょうか。いや、本当は弱いものだと思います。だからこそ、これまでの歴史に様々な宗教が成り立ってきたとは考えられないでしょうか。

言葉の演出と音楽のムードが宗教者の役割になってしまう無宗教葬で、どんなに感動をプレゼンテーションできても、それが一時的なものであることを知らなければなりません。

忘れてはならないもの、それが「葬儀」に必要な「救い」の存在です。「神」「仏」「浄土」「彼岸」「天国」など社会に定着している宗教用語がもつ意味には深いものがあります。

無宗教葬が行われた後日に、ご遺族から「故人は、いったい何処へ行ったのでしょうか？」と素朴な質問をされたとき、どのように応えるべきなのか。本当に困ってしまうのが現実です。「送られる側」の本人は納得していても、「送る側」のご遺族には、事前に十分な準備と「覚悟」が必要になってきます。

元来、お葬式とは宗教ではなく基本的には習俗です。私は、宗教と習俗をはっきり分けて、「お葬式」の本来の意味を考えるとともに、理想の姿というものを追及してみたいと思っています。

お葬式は、肉体的処理と魂の処理それに遺族の心の処理の三つが行われるべきで、本人がやるものではなく、周りの人間がやるものです。

ご遺体の処理に関しては、葬儀社の手に任せてもいいですが、お葬式そのものは遺族の問題です。二親等といえば兄弟までですが三親等までと本当に親しい友人が集まればいいと思います。

問題は魂と遺族の心の処理です。魂はどのように処理するのがいちばん理想的なのでしょう。それを考える時、二つの方向性が出てくると考えます。

もちろん、魂の救いを求めて宗教者に委ねるのもひとつの方法です。もう一つは、「魂は安らかなもの…」という見方です。「亡くなったお父さんの魂はたたるわけではない。優しく自分たちを見守ってくれている。」と考えることです。仏事をやらないと私たちに不幸をもたらすというように故人を見るのは、亡くなった方がかわいそうだと思います。「お父さん、私たちはお浄土での幸せを願っています。仏様がお父さんを幸せにして下さることはわかっていますが、私たちからもお願いします。」という気持ちで、手を合わせるという方法です。

これには、「送られる側」と「送る側」の事前準備や家族全体の理解が重要になってきます。

お葬式のあるべき姿・理想の姿とは、形式はどうあれ「魂の救い」と大事な人を亡くした方の「心の救い」のふたつの「救い」がちゃんとあり、「遺族の心の整理」のためにこそあるべきだと私は考えています。

「葬送」という言葉があります。「お葬式」から「お送式」へ、お葬式の仕方を考え直してみたいですね…

### 次回、第10号の予告 実践講座(6) お墓の問題や供養について考えてみましょう。お楽しみに…



●自己紹介 (いちかわまさきよ)  
1955年生・B型・おうし座  
一般葬祭ディレクター  
技能審査協会審査官  
ライフ終活アドバイザー  
趣味/写真・登山・心学研究  
座右の銘/単純、明快、矛盾なし  
大切にしているもの-/見えないもの、見えないところを大切に

## 心にのこった…ご葬儀 ⑨

### 『楽しいお通夜だったネー』

11月25日・26日。本荘月光庵にて、お通夜・告別式の受付をさせて頂きました。今まで「お通夜・告別式」というものは悲しくてつらいイメージでしたが、この2日間でお別れの形は自由でいいんだ…と知りました。

故人は柳ヶ瀬で有名なバーのマスターで、長く岐阜の夜の街を盛り上げてきた人です。今私の周りにいる友人とも、主人とも、そのバーで出会いました。

平成25年7月に末期ガンの告知を受けてから10月まで、瘦せてフラフラになりながらもマスターはお店を続けて、最後の1ヶ月は入院中も「またお店をやりたい」と夢を語りながら亡くなりました。

お通夜・告別式には平日にもかかわらず沢山の人が参列されました。離れて暮らしていたお母様はマスターがこんなに沢山の人の愛されていた事に驚き、喜んでいらっしゃいました。本来、お通夜は親族のみでしめやかにされる事が多いと思いますが、ご家族のご好意で友人達がいつまでもマスターのそばにいられるようにして下さいました。お酒や食べ物を持ち込み、朝まで本当に自由にさせてもらいました。ゲームを始める人達、マスターに話しかけ続ける人、笑いながら思い出を話す人、横になって寝てしまう人…。それぞれが思い思いにマスターとの最後の夜を過ごしました。マスターが動かないのが不思議なくらい、いつものメンバーで、いつものような光景。初めて来た本荘月光庵という場所が、まるでいつものバーのように落ち

着く空間になっていました。朝まで笑い声が続いていました。

葬儀スタッフの方達は、私達の勝手な希望を全て聞き入れて下さり、4ヶ月以上食べたいものが食べられなかったマスターのために焼き焼きを作ってお供えして下さいました。(お母様が本当に喜んでいました。)また、帰ることができなかったお店の車を霊柩車が通る時に停止して下さいたりと、本当にたくさんありがとうございました。

火葬後、火葬場の方に大きな虹ができていたのが印象的でした。

後日、誰かが「楽しいお通夜だったネー」と言っていました。不謹慎かもしれませんが、きっとその言葉にマスターも喜んでいただきたいと思います。

畑佐 未和

未和さんありがとうございました。その後常連客だった友人の皆さんで土日だけお店を開き、ついに3月1日には新しいマスターのもとリニューアルオープンさせたそうです。マスターはきっと空の上から笑顔で見守って下さっていることでしょう。

久美子



### 手軽にできる。ヘルシー! 安い! 美味しい! 「人参ポタージュ」はいかが?



### 暮らしに アイデア

材料(4人前)

- ・人参1本(中)
- ・玉ねぎ1/2(中)(お好みで)
- ・白米または玄米(茶碗半分)
- ・豆乳または牛乳500ml
- ・水おおよそ100cc
- ・コンソメまたはブイヨン(少々)
- ・塩、胡椒

作り方

1. 人参、玉ねぎをうす切りにして、蒸すかゆでて火を通しておく。
2. ミキサーに人参、玉ねぎ、ごはんを入れ、材料が浸るくらい水を入れて、なめらかになるまでかき混ぜる。
3. 材料を鍋にうつし、豆乳(牛乳)を入れ、ごく弱火であたためる。
4. コンソメ(ブイヨン)、塩、胡椒で味付けする。  
\*お好みで、バターを入れるとコクがでます。

